

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①個別最適な学習や多様な進路選択に対応できるよう、教育課程を編成する。</p> <p>②生徒が自ら学ぶ意義を客観的に捉える力を高め、「探究力」を育成する。</p> <p>③生徒一人ひとりが意欲的に取り組める行事・特別活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①設置科目や評価方法を見直し、個別最適な学びを提供する。</p> <p>②「主体的に学習に取り組む態度」の適切な評価方法について検討し、生徒の学習意欲を引き出す。</p> <p>③生徒が意欲的に参加する行事・特別活動等を実施し、主体的に行動する力の伸長を図る。</p>	<p>①各教科からの意見や、「生徒による授業評価」の結果等を集約、分析し、研修会等を通して、教職員の共通理解を図る。</p> <p>②教職員向けの授業研修会を年3回以上計画的に実施する。</p> <p>③夏期講習の受講を促し、生徒の学力の伸長に結びつける。</p> <p>④行事・特別活動等の実施の際には、生徒会本部役員や委員会・部活動等の生徒と意見交換を重ね、生徒自らが主体的に行動する機会を積極的に設ける。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①行事・部活動等を通して、「協働」の精神の涵養を図り、自己及び他者を尊重する態度を養う。</p> <p>②地域とかかわり、地域から愛され、信頼される生徒を育成する。</p> <p>③個に応じた教育相談体制の充実を図る。</p>	<p>①持続可能な行事・部活動の運営体制を整備し、生徒の主体的な活動を通して、自己及び他者と協力して取り組む態度を養う。</p> <p>②生徒が自己肯定感を持つようになるとともに、基本的な社会規範を尊重する態度の定着を目指し、学校全体で継続的に指導を行う。</p> <p>③こころのサポート事業や相談箱の利用を通じて生徒が気軽に相談ができる体制作りを進める。</p>	<p>①生徒・教職員と丁寧にコミュニケーションを取り、行事や部活動等に積極的に参加できる仕組みを整える。</p> <p>②掲示物やHR等で、貴重品の管理等、日常生活の注意点を周知するとともに、頭髪や服装等も定期的に指導を継続する。</p> <p>③各学年に教育相談係を配置し、生徒へ周知するとともに、学年会において情報交換を密に行う。</p> <p>④学年会等からの情報をもとに、必要に応じ速やかにケース会議に繋ぐ。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①自己と社会を見据え、社会に求められる力を育むためのキャリア教育の確立を図る。</p> <p>②生徒の第一志望実現に向けた、進路支援の確立を図る。</p>	<p>①外部の教育力を活用した授業等をより充実させ、地域社会と多く関係性をもつ中で、生徒が自己と社会を深く理解し、主体的に探究しようとする態度を育成する。</p> <p>②生徒が納得のいく進路実現を果たせるよう、教職員全体で共通性のあるキャリア支援を実施できるようにする。</p>	<p>①3年間を見通した「総合的な探究の時間」の計画を策定し、それを基により深い地域との関係性を構築した授業展開と、外部講師の適正かつ豊富な利用機会を設ける。</p> <p>①長期休業中のキャリア育成講座数を昨年5講座より多く開講できたか。</p> <p>②教職員向けの実力テスト振り返りの機会を計画的に実施することができたか。</p> <p>③キャリア教育と進路情報に関する資料を年間15回以上配付、活用することができたか。</p> <p>④⑤「総合的な探究の時間」の生徒アンケート結果を、全学年で向上させることができたか。</p>	<p>①「総合的な探究の時間」を計画に沿って実施し、外部の教育力の活用を推進することができたか。</p> <p>②教職員向けの実力テスト振り返りの機会を計画的に実施することができたか。</p> <p>③キャリア教育と進路情報に関する資料を年間15回以上配付、活用することができたか。</p> <p>④⑤「総合的な探究の時間」の生徒アンケート結果を、全学年で向上させることができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域との交流や活動を積極的に行い、生徒が主体的に活動する場を提供し、地域とかかわる力の育成を図る。</p> <p>②学校運営協議会等を活用し、地域に開かれた学校づくりに取り組む。</p>	<p>①地域との交流や活動の中で生徒自らが思考、判断し行動できるように支援していく。地域から期待され応援される生徒の育成を図る。</p> <p>②学校運営協議会等を活用し、地域等の外部からの意見等を聞く機会を設ける。</p>	<p>①生徒が地域との連携を感じできる企画を立案し、生徒自身が思考する場面を増やすとともに、企画段階から生徒の活動の機会を増やしていく。</p> <p>②対面による学校運営協議会を開催する。適切に資料の配付（発信）を行い、書面等できめ細かく情報交換を行う。</p>	<p>①各活動において振り返り等を行い、生徒が活動を通じて考えたことや判断できたことをまとめる。主体的な活動を実感できる関わり方をさせることができたか検証する。</p> <p>②学校運営協議会の場を活用し、意見を広く聴取りし、実際の取組に活かすことができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境の変化に対応し、適切な設備・備品管理や環境整備等に取り組む。</p> <p>②生徒・職員の防災意識の向上を推進し、地域に開かれた学校として連携を図る。</p> <p>③職員の事故・不祥事防止に努める。</p>	<p>①教育環境の変化及びICT活用のさらなる推進に伴い、運用に適した備品等の管理・整備を図る。</p> <p>②教育活動全体をとおして防災教育を実施し、地域と連携した防災対策を推進する。</p> <p>③教育への信頼と生徒たちの安全・安心を守るために、職員の認識を深める。</p>	<p>①教職員の働き方改革を推進するとともに、教育環境及びICT機器等の管理や整備に取り組む。</p> <p>②地域と連携した防災活動や、教科等と連携して効果的な防災教育等を実施する。</p> <p>③事故・不祥事防止研修を、時宜にかなうテーマで定期的に実施する。</p>	<p>①ICT機器等の管理や設備等の整備・活用を推進できたか。持続可能な教育環境整備等に取り組めたか。</p> <p>②地域や教科等と連携した防災避難訓練（防災教室等を含む）を実施できたか。</p> <p>③適切な研修テーマを設定し、実施できたか。</p>